



(公財) 熊本県移植医療推進財団
 熊本県熊本市東区長嶺南2丁目1-1
 熊本赤十字病院内
 2021年10月発行
<https://kumaisui.jp/>

10月は臓器移植普及推進月間

共催事業報告



『いのち～未来へつなぐ～』をオンラインで開催 2021年10月10日(日)

熊本県と熊本赤十字病院、及びKKT!医療ナビ「Dr.テレビたん」主催による市民公開講座がオンラインで開催されました。熊本県立済々黌高等学校 中島千陽さんによる高校生から見た日本の移植医療と題した講演、ドナーファミリーとなった元福井新聞社 記者 五十嵐利幸氏の講演、聖隷浜松病院 救命救急センター長 渥美生弘医師のパネルディスカッションが行われました。事前登録は約450人。全国の方に向けた移植医療・臓器提供の現状報告、そして普及啓発につながりました。

※視聴者のアンケート結果から一部抜粋
 「経験者の方や現場で移植に携わっている方のお話は説得力があります」「家族で移植のことを再度話し合うきっかけになりました」等、沢山の感想をいただきました。

脳死下臓器提供施設の紹介

地域医療機能推進機構 熊本総合病院

「死」には脳死と心臓死があり、それぞれ提供できる臓器が異なります。脳死下では、7種類の臓器（心臓・肝臓・眼球・腎臓・膵臓・肺・小腸）が提供でき、最大11人が移植を受けられます。（臓器の移植に関する法律第5条他）
 脳死後の臓器提供ができる医療施設は、必要な体制が整備された高度な医療を行う施設とされ（臓器移植法のガイドライン5類型に該当）、県内では、六つの病院で脳死下臓器提供体制を整えています。

今回は八代市にある独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院（島田信也院長）の院内コーディネーターの方々にお話を伺いました。認定施設の取り組みについてご紹介します。

熊本総合病院は八代市の中心地にある病床数400床の総合病院です。建物の中も外も、豪華で圧倒されます。メインで活動されている院内コーディネーターは3名、副院長の堀野先生、副看護師長前田さん、医療連携室の川上さんです。救命救急部の受付では患者さんに必ず、健康保険証等の身分証の裏で意思表示の有無を確認する徹底ぶり。脳死下臓器提供の実績はまだありませんが、今後はルーチンリファールシステム（RRS※）の構築なども検討していくそうです。院内には臓器移植推進の為に寄付型自動販売機があり、売り上げに応じて、当財団に寄付されるシステムで、毎月ご寄付いただいています。10月の臓器移植普及推進月間もグリーンライトアップにご協力いただくとともに、病棟の建設も進んでおり、脳死下臓器提供施設としての活躍が期待されます。



左から
 川上さん 堀野副院長 前田副看護師長



寄付型自動販売機

アイバンク ドナーファミリーの集い

医療従事者とレシピエントからドナーファミリーへの感謝の集い
第24回ドナーファミリーの集い オンラインで開催

Web配信期間：2021年10月9日（土）～11月8日（月）

当財団と熊本県ライオンズクラブ337-E地区献眼献腎献血運動協力会
はこの活動に協賛しています

熊本は親族優先提供の症例について発表

ご視聴はこちらから
<https://eyebank.or.jp/donor-family-day-2021>

ご覧いただくには、IDとパスワード
の入力が必要です
ID: 20211009
PW: 2021@kakumaku



是非ご覧ください★

QRコード

令和2年度 決算報告

令和2年度 収支決算書

経常収益 (円)		経常費用 (円)	
基本財産運用益	1,508,325	事業費	8,307,037
受取会費	858,200	管理費	1,577,563
事業収益	2,600,000		
受取補助金	5,060		
受取寄付金	5,036,620		
雑収益	163		
計	10,008,368	計	9,884,600

※詳細については、当財団のホームページをご覧ください。

全国GREEN LIGHT-UP Project in 熊本



移植医療のシンボルカラーであるグリーンにライトアップすることを通じて、臓器移植医療への理解が広がることを期待して、グリーンリボンデーの10月16日（土）を中心に、熊本県内のランドマークや建物をグリーンにライトアップしました。（順不同）



熊本県庁



肥後銀行 本店



熊本城



サクラマチ クマモト



鶴屋百貨店



アミウラgakumoto



熊本ホテルキャッスル



ホテル日航熊本



熊本大学病院



熊本医療センター



熊本労災病院



熊本総合病院



熊本赤十字病院

当財団の新型コロナウイルス感染症対策について

以下に該当する方は「角膜の提供」をご遠慮いただいております。

- ◆ 今までに新型コロナウイルス感染症と診断された、または新型コロナウイルス検査（PCR、抗原または抗体検査）で陽性になったことがある方
- ◆ 新型コロナウイルス感染症が疑われ、PCRまたは抗原検査を受けた結果は陰性だが、検体採取日から4週間以内の方
- ◆ 何らかの理由で新型コロナウイルス検査を受け、直近の結果が判明していない方
- ◆ 現在、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症を疑う症状（※1）のある方
- ◆ 4週間以内に新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者とされた方（保健所からの連絡、もしくはCOCOAによる通知を含む）（※2）
- ◆ 味覚・嗅覚の違和感を自覚する方
- ◆ 海外から帰国して「4週間以内」の方

※1 発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気、嘔吐など

※2 「濃厚接触者」とは、「患者（確定例）」の感染可能期間（症状※1を呈した2日前から）において当該患者が入院、宿泊療養又は自宅療養を開始するまでに接触した方のうち、次の範囲に該当する方です。（「無症状病原体保有者」（感染可能期間は検体採取日の2日前から）を含む）

- 患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった方
- 適切な感染防護なしに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた方
- 患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い方
- その他：手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と15分以上の接触があった方（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）。

（国立感染症研究所 感染症疫学センター「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」（2021年1月8日版）参照）

熊本県腎移植者の会 会長の声

株式会社 大塚食品 代表取締役社長 大塚哲也氏

※このコーナーは熊本県内の移植医療に携わる方をご紹介します。
今回は熊本県腎移植者の会の大塚哲也会長に話を伺いました。

熊本県腎移植者の会（以下：いの会）は、腎移植を受けた方を対象に、本会員70名、家族会員30名、計約100名の方が在籍しています。熊本大学病院の腎移植者の会が熊本赤十字病院にあったそらまめ会と合併して平成7年から現在の会となりました。活動内容は、総会、研修会、広報誌作り、旅行、花見、移植医療の普及啓発等です。いの会には熊本県腎臓病患者連絡協議会と同時に入っている方も多く、国会に請願するときなど、全腎協と一緒に活動を行っています。

辛い透析を乗り越え、生体腎移植を2回経験された大塚会長。仕事柄出張も多く、時間に縛られることなく自由に生活できることが移植のメリットだそうです。『移植は臓器の提供がないと成り立ちません。まずは意思表示から。臓器を提供する、しないは個人の自由、その意思をはっきりと示しておくことが、残された家族の為にも大切なことです。インターネットで情報が即座に手に入る世の中になりましたが、移植を経験した同じ境遇の者同士話すことで得られる情報、そして安心感は計り知れないものがあるため、移植した方のためにも頑張ります』との事。常に感謝の気持ちを持っている会長の熱い思いを取材しながら感じる取る事ができました。



移植医療の普及啓発資材を制作中の大塚会長

いの会は会員を募集中です。
興味のある方は是非ホームページをご覧ください。

熊本県腎移植者の会

検索

臓器移植・アイバンク ポスターのご紹介

Q&A 財団に寄せられたご質問



熊本県オリジナル
臓器移植普及啓発ポスター



アイバンク普及啓発ポスター
高嶋ちさ子氏

※ポスター掲示やパンフレット設置も重要な普及啓発です。
設置可能な方はご連絡下さい。お届けします。

Q 親族に臓器（角膜）提供をしたいと考えています。事前に揃えておく書類等がありますか？

A 戸籍の謄本若しくは抄本又は住民票をご準備下さい。（一親等以内の確認）更に免許証や健康保険証等の特記欄に親族優先と明記し、ご署名を。提供には家族の同意が必要です。生前に、主治医への相談と、ご家族での話し合いをお願いします。

賛助会員募集中

～移植医療にご支援ご協力をお願いします～

移植医療の広報活動、角膜摘出にかかる費用は、多額の経費が必要です。この経費は、賛助会費収入、寄付金などでまかなっています。一人でも多くの移植を待っている方へ「思い」が届けられますよう、温かいご支援をお願いします。

※賛助会費・寄付金は申告により所得控除の優遇措置が受けられます。



振込先

賛助会費	法人会員	年会費	1口	10,000円	銀行名	ゆうちょ銀行
	個人会員	年会費	1口	3,000円	口座名義	公益財団法人 熊本県移植医療推進財団
寄付金	金額は問いません				口座記号	01740-1
					口座番号	145335

24時間対応

臓器・角膜提供連絡先

臓器提供

- 熊本県臓器移植コーディネーター
☎ 080-2759-9467
- 公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク
☎ 0120-22-0149

角膜提供（献眼）

- 熊本赤十字病院
☎ 096-384-2111

県内の献眼状況

2021年度累計

● 献眼件数 5名

● 角膜移植を待っている方 142名

● 角膜移植を受けた方 7名

2021年9月末現在

※臓器提供・移植状況は日本臓器移植ネットワークのホームページをご覧ください。

【問合せ先】 公益財団法人 熊本県移植医療推進財団
熊本赤十字病院内

☎ 096-384-2111（平日 8:30～17:00）
ご質問・資料請求 ホームページからも申請可
<https://kumaisui.jp/>

